

万歩計とIPv6によるお年寄の健康管理システム



< 背景 >

一人暮らしのお年寄の増加

(原因: 少子高齢化と核家族化の進行、子供の独立、お年寄自身が自立した生活を選択、災害など)

孤独死の増加

< 既存システムの問題点 >

家の中の一部の行動のみしか把握できない

病人の監視を目的にしたものが多い

プライバシーが気になる場合もある

勝手に外出しにくいなどかえって気を使う



もっと自然に、一人暮らしのお年寄の健康状態を把握できないか？

IPv6通信機能付き万歩計

起床とともに、
万歩計のスイッチオン



起床時間を記録

リアルタイムで
も歩数反映が
可能

外出先でも、家の中でも歩数だけは
しっかり記録



インターネット

就寝時には、就寝時
間とその日の歩数を
記録



全国の気象データ

緊急時には応答システムで救助



万歩計とIPv6によるお年寄の健康管理システム

今日はお天気もいいので、少し歩いてこなくちゃ!



1月		カレンダーレポート					
		1日	2日	3日	4日	5日	...
起床時間		_____					
就寝時間		_____					
歩数							
お天気							
最高気温		_____					
最低気温		_____					

一人暮らしのお年寄



お天気はいいのに、あまり外出もしていないみたい。どこか具合でも悪いのかしら?



離れて暮らす家族

朝起きてないみたいけど、病気で寝込んでいるのかしら?

雪が続いたので家に閉じ込められているみたい...

地域行政のサポート



かかりつけ医のアドバイス

緊急応答センター

友人・知人

情報共有のメリット

適切な支援と健康意識の向上

< 新システムのメリット >

- ・病気やケガといった緊急事態には、家族や医者、行政などから適切なサポートを受けられるので、お年寄本人だけでなく、家族側も安心して生活できる
- ・健康に長生きするための生活習慣を、皆が自然と意識するようになる
- ・毎日の歩数がデータベースに記録され、レポートで推移を把握できるので、歩数目標を管理しやすい
- ・家族やかかりつけ医などとのコミュニケーションが円滑になる
- ・緊急事態に適切なサポートを行なうことで孤独死の防止につながる